

平成27年度

理事会（第4回）
議事録

平成28年1月30日（土）

山口県介護支援専門員協会

平成27年度 山口県介護支援専門員協会 理事会
議事録

1 日 時

平成28年1月30日（土） 午後1時30分から午後4時まで

2 会 場

山口県セミナーパーク リハビリテーション実習室

3 出席者

(1) 理事

定数 31名

出席者数 26名（うち委任状出席8名）

出席者名

佐々木啓太	橘 康彦	塩見昌丈	林 浩二	頃末能宏
堀田慎一郎	渡邊康浩	三井栄三	関永里美	河本好英
二井隆一	山本亜紀	佐藤 剛	山本史彦	岩神亜紀
藤本真樹	福谷治夫	福井治枝		

委任状出席者

横山具寛	岩本浩子	木村友和	景浦 佑	脇村敦子
藤本英樹	東郡富美江	鶴田憲一		

(2) 監事

定数 2名

出席者数 0名

(3) 顧問

定数 1名

出席者数 0名

(4) 事務局

福祉研修センター 主幹 熊谷聖 嘱託 福本かおる

4 上程議案

第1号議案 一般社団法人化について

第2号議案 法人化後の収支について

第3号議案 平成28年度役員体制について

第3号議案 事務局体制について

5 その他

6 審議の経過

佐々木会長

挨拶の後、本日の理事会議事録署名人の選出について、次の理事を指名し、両名の承諾を得た。

塩見昌丈

渡邊康浩

続いて第1号議案一般社団法人化について説明いただく。

事務局場所について12月に県社会福祉会館を仮申請し、2月の登記後に正式に契約する。事務委託をお願いしている県社協へ挨拶に行き、常務、局長へ法人化に伴い4月より事務局を構える事等を伝えた。

登記関係は司法書士山本先生にお願いしており、法務局へ2月1日付で登記し、即日受理していただく予定。

地域支部に向けた法人化後の流れについて、今期役員の任期は5月末までであるが、任意団体が3月末で終了し、4月から新しい事務局体制でスタートする。法人化にあたり、任意団体の財産を法人化後の団体に寄附するための承認等議案があるため、2月27日に臨時代議員総会を開催する。

2月から3月で事務所の物品、リース契約を行い、定款の中で必要な諸規定を制定していく。4月から事務局のスタートとなる。

総会について社員総会と代議員総会の2パターンあるが、会員参加の社員総会の形をとらず、介護福祉士会の例にならい代議員制とする。4月1日付の会員数で代議員、役員の人数を確定するため、3月末までに県協会へ入会申込書のコピー又は、名簿データいずれかの提出をお願いする。県で選挙管理員を立ち上げ、立候補、推薦者をあげてもらい、定数を超えた場合に限り選挙を行う形をとる。選挙になる支部について、県協会より往復はがきで投票用紙を送り、返送してもらう。選出内容については代議員選挙細則に定める。

次年度5月末の代議員総会では任意団体の事業報告、決算報告、監査報告と、一般社団の事業計画、収支予算、役員体制について協議を行う。代議員総会終了後に一般社団法人設立記念式典を開催予定。

渡 邊 理 事 新規入会申込書を地域で配布している。例年4月から5月の総会で申込書の取りまとめを行っているが前倒しになったと考えてよいか。

佐々木会長 前倒しになったと考えてよい。

佐 藤 理 事 臨時代議員総会、代議員総会の会場について、どこで行うのか。

事 務 局 臨時代議員総会はセミナーパーク社会福祉研修室、5月の代議員総会は福祉会館の大ホールを仮押さえしている。

渡 邊 理 事 法人化についての問い合わせがあり、回答できなかった。

佐々木会長 法人化についての質問に関しては県協会事務局へ連絡してもらうよう伝えて欲しい。記念式典の開催について他の職能団体へ案内する。県からの法定研修も受託もできたので、県会議員の方にも出席いただき、挨拶をいただく。

橘 副 会 長 他の職能団体との交流も兼ね、ご尽力をいただいた団体に依頼する。協議事項第1号議案について質疑を求めたが特にないため、協議事項第2号議案法人化後の収支について説明いただく。

佐々木会長 収支予算について、28年度も実務従事者基礎研修は県から実施依頼があるため、補助金額は減額されるが実施する。法定研修実施に向けての研修向上委員会に係る業務について県からの受託を予定している。

研修に依存した収支になっているが、法人化したので公益な事業を行っていく。研修スケジュールについて説明いただく。

- 岩神理事 年間のスケジュールについて実務事務研修、SV基礎研修、対人援助研修は日程が粗方決まっているので、要項を3月頃発送予定。施設研修は事業所種別に分け実施する。医療ニーズは県の受託を受けているのでテーマを精査し実施する。施設研修以降については講師等、全て予定のため、地域より要望する研修があれば出していただいで構わない。収支状況を見ながら実施していく。
- 主任更新受講要件の研修内容について、主任研修又は主任更新研修カリキュラムにのっとり指導者の視点で実施が必要。5時間以上のベースがあり、主任ケアマネが10名以上の参加が求められる。主任更新研修が10月から12月に県社協で実施されるため、9月末までに4回開催し、更新研修修了までに残り2回を開催する予定。
- 佐々木会長 法人化後の経理関係について税理士の福知先生に指導をお願いするので、経費を見ている。
- 頃末理事 主任更新受講要件研修について会員、非会員の差をつけられるのか。
- 岩神理事 会員、非会員で差はつけられる。かいごへるぷやまぐちに要項の掲載が出来るので、非会員への周知についても検討する。事前に県へ研修企画を申請し、承認を得る必要がある。
- 山本史理事 県からの説明を受けたが、次年度は県協会で6回の開催をお願いしているが、再来年度は包括も参画して欲しいとの説明があった。
- 岩神理事 更新時期の猶予期間もあるため、県が実施する更新時期についてのアンケートを基に精査する。
- 山本史理事 説明があまり伝わっていないため、理解しないままアンケートを回答する可能性がある。アンケート結果が基準になるか不明瞭である。
- 橋副会長 実務研修もカリキュラムが倍になり、合格率に左右されるため、受講料を6万円で見込んでいる。
- 二井理事 今年度実務研修受講者へ受講料の負担、参加の取り扱い等についてのアンケートを実施したので、精査する。
- 関永理事 受講料の説明が出来るかが難しい。
- 佐々木会長 地域へ出向いて説明は行っていくので、必要であれば声をかけて欲しい。
- 橋副会長 第2号議案について質疑を求めたが特にないため、満場に諮ったところ、全員異議無く承認された。第3号議案平成28年度役員体制について、説明いただく。
- 佐々木会長 平成28年度役員体制について定款の第4章に記載しているが、理事35名以内、監事2名、顧問、相談役を置くことができる。会長1名、副会長2名、各部の体制も現状通りで実施する。定款に記載はな

いが、会長推薦枠も残していく。

役員の数について、3月末までの会費納入者を対象に、会員数70名に対し1人の選出となるが、地域によって会費納入時期が異なる為、役員数が減る可能性がある。地域支部の集金の実情も踏まえ、県協会への会費納入については5月末までとし、3月末までに入会申込書の提出があった方を会員と認める等意見を伺う。

橘副会長 会員の見なしについて、入会申込書の提出か会費納入時点のどちらで見なすか。次期についてはいつが妥当か意見を伺う。

藤本真理事 周南市の総会までに9割方は入会申込書、納入も同時期となるが。基本的にはお金が入った時点で会員と認める必要があるのではないかと。

関永理事 柳井は会長が変わる為、領収書は会長名で出している。総会で次期会長の就任が決まるため、3月末の会費納入は難しい。

佐藤理事 宇部は会員へ振込用紙を渡すが、総会に出席し支払う方が多い。出席者は40名程度となるため、その他の方は事務局から直接連絡していかないと入金されない現状である。

橘副会長 3月末での会費納入は難しいので、申込書は3月末までの提出で、会費納入は5月末とする。役員体制について意見を伺う。役員は現状と変わらない形で、顧問、相談役をおくことが出来る。

佐々木会長 生涯研修部と法定研修部を分けることを以前考えていたが、次年度は生涯研修部が担う形で1本とする。3月末までに当会上がってきた会員数で、4月以降に役員選出人数を連絡する。役員体制について5月の総会で承認いただけるよう進めて行く。

橘副会長 協議事項第3号議案平成28年度役員体制について質疑を求めたが特にないため、協議事項第4号議案事務局体制について説明いただく。

佐々木会長 事務局体制について事務局員を公募するため、募集要項を作成した。法人登記後に県社協局長へお渡しし、当会のHPで公募する。今までの経緯が分かる方に来ていただきたい。橘副会長の知り合いで経理関係が分かる方の面談を行った。自主研修、法定研修等セミナーパークで実施し、事務作業が煩雑となるため、3名体制を考えている。雇用保険、マイナンバー等、経理関係の作業については税理士と確認していく。

橘副会長 協議事項、協議事項第4号議案事務局体制について質疑を求めたが特にないため、その他各部からの報告について説明いただく。

堀田理事 3月5日(土)に防府右田ヶ岳への登山、バーベキューを企画しているので参加していただきたい。現在申込みは10名弱となっている。

佐々木会長 スマートフォンアプリの開発について3月頃に会員へ提示できる。スマホでアプリをダウンロードしていただき研修案内等、会の情報が

見られる形となる。

岩神理事 3月13日(日)に開催する認知症、うつに関する研修会は120名と定員となっており、午後の看取りの研修もグループワークのため現在87名の参加となっているがこちらも定員に達している。今年度の研修はSV実践編と13日の研修で終了となる。次年度の研修企画について地域より要望があればご連絡いただきたい。

と き 午後3時30分

この議事録の内容が正確であることを証するため、署名捺印する。

平成28年 1月30日

山口県介護支援専門員協会

議 長 _____ 印

署名人 _____ 印

署名人 _____ 印